

2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月12日

上場会社名 株式会社ゼンショーホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7550 URL <https://www.zensho.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 小川 洋平
 問合せ先責任者 (役職名) 最高財務責任者執行役員 (氏名) 丹羽 清彦 (TEL) 03(6833)1600
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月8日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	1,264,053	11.2	81,440	8.4	78,257	8.9	45,812	16.6
2025年3月期	1,136,684	17.7	75,128	39.9	71,890	41.2	39,290	28.0

(注) 包括利益 2026年3月期 66,416百万円 (78.1%) 2025年3月期 37,281百万円 (△8.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	275.85	—	15.8	8.8	6.4
2025年3月期	240.45	—	17.3	9.2	6.6

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 16百万円 2025年3月期 21百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	960,362	341,449	35.5	1,665.94
2025年3月期	813,109	240,371	29.5	1,335.69

(参考) 自己資本 2026年3月期 340,963百万円 2025年3月期 240,061百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	101,177	△78,089	19,819	128,054
2025年3月期	78,953	△66,497	△16,225	79,695

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00	10,986	29.1	5.6
2026年3月期	—	35.00	—	40.00	75.00	11,763	27.2	5.0
2027年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00		27.0	

(注) 配当金総額には、「株式給付信託(BBT)」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有する当社普通株式に対する配当金が含まれております。

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	691,331	12.8	43,998	8.8	39,891	1.6	23,847	2.5	140.70
通期	1,424,000	12.7	92,000	13.0	84,000	7.3	50,000	9.1	296.19

※ 注記事項
(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期	160,733,225株	2025年3月期	160,733,225株
② 期末自己株式数	2026年3月期	4,270,938株	2025年3月期	4,069,343株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	156,586,446株	2025年3月期	156,664,387株

(注) 1. 1株当たり当期純利益（連結）の算定の基礎となる株式数については、17ページ「1株当たり情報」をご覧ください。
2. 「株式給付信託(BBT)」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行(信託Eロ)が所有する当社普通株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 個別経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期	402,910	20.5	△1,511	—	28,807	313.3	29,620	253.2
2025年3月期	334,316	13.4	△10,813	—	6,969	△10.4	8,385	11.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	172.44	—
2025年3月期	43.19	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期	658,736	211,901	32.2	841.07
2025年3月期	597,556	148,275	24.8	749.81

(参考) 自己資本 2026年3月期 211,901百万円 2025年3月期 148,275百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。上記予想に関する事項は添付資料の5ページをご覧ください。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る１株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	2,707,397.26	－	2,692,602.74	5,400,000.00
2027年３月期(予想)	－	2,707,397.26	－	2,692,602.74	5,400,000.00

(注) A種優先株式は、2023年９月29日に発行したものです。

第１回社債型種類株式

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	－	－	99.72	99.72
2027年３月期(予想)	－	100.27	－	99.72	199.99

(注) 第１回社債型種類株式は、2025年10月１日に発行したものです。

種類株式の取得に関する方針

当社は、第１回社債型種類株式の取得条項により、2030年10月１日以降等に、金銭を対価として同株式を取得（コール）することができます。また、A種優先株式についても、当社は取得条項により、2028年９月29日以降に、金銭を対価として同株式を取得（コール）することができます。

当社が第１回社債型種類株式及びA種優先株式を取得（コール）するかは、その時点の事業・財務戦略や市場環境等を総合的に勘案して判断します。ただし、当社としては、ハイブリッド調達市場慣行として、社債型種類株主及びA種優先株主を含む多くの投資家が、当社による取得（コール）が可能となってから実務上可能な限り速やかに、対象となる種類株式の取得（コール）が行われることを期待していると認識しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	5
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(連結損益計算書関係)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

当連結会計年度より、従来の「グローバルファストフード」セグメントに含まれていた海外テイクアウト寿司事業を「グローバル中食」セグメントとして分離して開示することになりました。それにより報告セグメントは「グローバルすき家」「グローバルはま寿司」「グローバル中食」「グローバルファストフード」「レストラン」「小売」「本社・サポート」の7区分に変更しております。そのため、当連結会計年度の比較・分析は、変更後の報告セグメント区分に基づいております。

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2025年4月1日から2026年3月31日)における連結業績は、売上高1兆2,640億53百万円(前年同期比11.2%増)、営業利益814億40百万円(同8.4%増)、経常利益782億57百万円(同8.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益458億12百万円(同16.6%増)となりました。

当社グループを取り巻く経営環境は、中東情勢の緊迫化をはじめとする地政学的リスクに加え、米国の通商政策動向、為替相場及び金融市場の変動などにより、先行き不透明な状況が続きました。国内経済においては、雇用・所得環境に改善の動きが見られる一方、物価上昇の継続により消費者マインドは弱含みで推移しました。このような環境下、コメ価格の高騰に加え、輸入牛肉や水産物などを含む原材料価格の上昇によるコスト負担増が事業運営に影響を及ぼしました。

こうした状況の中、各報告セグメントの既存店売上高前年比は、「グローバルすき家」で104.3%、「グローバルはま寿司」で115.5%、「グローバルファストフード」で109.2%、「レストラン」で109.8%、「小売」で103.1%となりました。

当連結会計年度末の店舗数につきましては、1,042店舗出店、1,514店舗退店した結果、14,947店舗(F C 8, 235店舗含む)となりました。

報告セグメント別の概況につきましては、以下の通りであります。なお、文中に記載している売上高は、外部顧客への売上高としております。

(グローバルすき家)

「グローバルすき家」の当連結会計年度の売上高は、3,144億54百万円(前年同期比6.3%増)、営業利益は、93億17百万円(同62.0%減)となりました。

「すき家」は、日本国内と中国、東南アジア及び中南米に展開しており、ご家族やグループのお客様にもご利用いただけるよう、主力の牛丼を中心に安全で美味しい商品を手軽な価格で提供しております。また、前期末に国内すき家の一部店舗で発生した異物混入事案を受けた安全衛生対策については、清掃の強化や老朽化が進んでいる店舗の計画改装等に引き続き取り組んでおります。

国内すき家の商品施策としては、原材料費やエネルギーコストなどの上昇により物価高が続いている経済環境の中、すき家の牛丼を多くのお客様により手頃な価格でお楽しみいただきたいという想いから牛丼の値下げを実施したほか、「ナポリタン牛丼」、「煮込みハンバーグカレー」、「めかぶオクラ牛丼」、「ニンニクの芽牛丼」、「バターチキンソースカレー」、「月見すきやき牛丼」、「ローストビーフ丼」、「デミグラスチーズ牛丼」、「炭火焼きほろほろチキンカレー」などを販売しました。

なお、当報告セグメントの当連結会計年度末の店舗数につきましては、112店舗出店、83店舗退店した結果、2,650店舗(国内2,000店舗、海外650店舗)となりました。

(グローバルはま寿司)

「グローバルはま寿司」の当連結会計年度の売上高は、3,202億77百万円(前年同期比28.9%増)、営業利益は、267億71百万円(同25.4%増)となりました。

「はま寿司」は、日本と中国などに展開しており、新鮮な海産物を使用した寿司に加え、麺類やデザート、ドリンクなどのサイドメニューも充実させており、お子様から大人まで楽しんでいただいております。

なお、当報告セグメントの当連結会計年度末の店舗数につきましては、132店舗出店、5店舗退店した結果、862店舗(国内664店舗、海外198店舗)となりました。

(グローバル中食)

「グローバル中食」の当連結会計年度の売上高は、2,218億95百万円(前年同期比5.7%増)、営業利益は、273億76百万円(同7.0%増)となりました。

主要ブランドである「AFC(ZENSHI)」、「SNOWFOX」、「YO!」、「Bento」、「Sushi Circle」は、主として欧米で寿司等のテイクアウト商品を提供しております。

当報告セグメントにおいては、収益性や立地条件等を踏まえた店舗ポートフォリオの最適化を目的として、戦略的な出退店を実施しました。

なお、当報告セグメントの当連結会計年度末の店舗数につきましては、761店舗出店、1,306店舗退店した結果、8,970店舗(F C 8,102店舗含む)となりました。

(グローバルファストフード)

「グローバルファストフード」の当連結会計年度の売上高は、1,128億18百万円(前年同期比8.3%増)、営業利益は、33億10百万円(同7.3%減)となりました。

「なか卯」は、和食ファストフードチェーンとして、親子丼・京風うどんを中心に、バラエティ豊かな商品をお手頃価格で提供しております。そのほかに、ハンバーガーチェーンの「ゼツテリア」、とんかつ専門店の「かつ庵」、武蔵野うどんの「久兵衛屋」、ハラル認証を取得したチキンライス専門店の「The Chicken Rice Shop」などが当報告セグメントに含まれております。

当報告セグメントにおいては、各業態の特性や成長性を踏まえ、業態構成の見直しや店舗運営の効率化を進めており、その一環として、ハンバーガーチェーンの「ゼツテリア」への転換出店を進めるとともに、讃岐うどん専門店「瀬戸うどん」とカフェチェーンの「モリバコーヒー」の全店閉店を実施しました。

なお、当報告セグメントの当連結会計年度末の店舗数につきましては、31店舗出店、103店舗退店した結果、1,145店舗(国内880店舗、海外265店舗、F C 57店舗含む)となりました。

(レストラン)

「レストラン」の当連結会計年度の売上高は、1,712億81百万円(前年同期比9.7%増)、営業利益は、129億98百万円(前年同期比14.1%増)となりました。

ファミリーレストランの「ココス」は、季節感を重視したフェアメニューの積極的な導入による商品の強化、専門店にも負けない本格的な味の追求、お客様が満足してお食事をしていただけるようサービス水準を高め、業績の向上に努めております。そのほかに、パスタ専門店の「ジョリーパスタ」、ハンバーグ&ステーキレストランの「ビッグボーイ」、厳選された牛肉を提供する焼肉チェーン店の「熟成焼肉いちばん」、本格イタリアンレストランの「オリーブの丘」、和食レストランの「華屋与兵衛」などが当報告セグメントに含まれております。

なお、当報告セグメントの当連結会計年度末の店舗数につきましては、6店舗出店、11店舗退店した結果、1,181店舗(国内1,180店舗、海外1店舗、F C 76店舗含む)となりました。

(小売)

「小売」の当連結会計年度の売上高は、769億77百万円(前年同期比1.2%増)、営業損失は、10億25百万円(前年同期は営業損失17億94百万円)となりました。

北関東中心に展開しているスーパーマーケット「マルヤ」、「ジョイフーズ」などのほか、青果販売等を行っている「ユナイテッドベジーズ」などが当報告セグメントに含まれております。

なお、当報告セグメントの当連結会計年度末の店舗数につきましては、6店舗退店した結果、120店舗となりました。

(本社・サポート)

「本社・サポート」の当連結会計年度の売上高は、107億9百万円(前年同期比119.1%増)、営業利益は、27億80百万円(前年同期は営業損失74億18百万円)となりました。

食品の製造・加工を担う㈱G F F、物流機能を担う㈱グローバルフレッシュサプライ、備品・ユニフォーム等を調達する㈱グローバルテーブルサプライなどが当報告セグメントに含まれております。

(その他)

「その他」の当連結会計年度の売上高は、356億38百万円(前年同期比13.7%減)、営業損失は、3億71百万円(前年同期は営業損失20億2百万円)となりました。

家庭用冷凍食品等を企画・開発・販売する(株)トロナジャパン、醤油やドレッシングなどの製造・販売を担う(株)サンピン、介護事業を運営する(株)輝、玄米・精米を販売する(株)ゼンショーライスなどが含まれております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産は9,603億62百万円となり、前連結会計年度末から1,472億53百万円増加いたしました。これは主に、第1回社債型種類株式発行に伴う預金の増加及び有形固定資産の増加等によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債は6,189億12百万円となり、前連結会計年度末から461億74百万円増加いたしました。これは主に、有利子負債の増加等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は3,414億49百万円となり、前連結会計年度末から1,010億78百万円増加いたしました。第1回社債型種類株式発行に伴う資本剰余金の増加及び利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

	金額
現金及び現金同等物の期首残高	796億95百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,011億77百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△780億89百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	198億19百万円
現金及び現金同等物の期末残高	1,280億54百万円
(参考)フリー・キャッシュ・フロー	230億87百万円

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、以下の結果により当連結会計年度末には期首対比483億59百万円増加し、1,280億54百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前当期純利益、減価償却費等の計上及び棚卸資産の増加等により、1,011億77百万円の資金の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、新規出店と改装に伴う有形固定資産の取得等により、780億89百万円の資金の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、第1回社債型種類株式の発行等により、198億19百万円の資金の増加となりました。

(注) フリー・キャッシュ・フローは、以下の計算式を使っております。

フリー・キャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、中東をはじめとする地政学的リスク、米国の通商政策動向、為替相場及び金融市場の変動に加え、原材料価格ならびにエネルギーコストの上昇などにより、先行き不透明な状況が続くことが予想されます。

このような環境下、当社グループは食の安全を第一優先とした「食のインフラ」によってお客様に美味しい食を持続的にお届けできるよう、食材調達から製造、物流、店舗販売まで一貫して設計・運営を行うマス・マーチャンダイジング・システム（MMD）をより強化し、世界の安定と発展のために貢献してまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であるため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	79,695	128,054
売掛金	53,323	58,676
有価証券	12,040	15,011
商品及び製品	4,848	4,763
仕掛品	3,244	3,488
原材料及び貯蔵品	63,960	78,858
その他	35,303	31,227
貸倒引当金	△409	△472
流動資産合計	252,006	319,606
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	279,784	317,944
減価償却累計額	△155,051	△164,651
建物及び構築物（純額）	124,732	153,292
機械装置及び運搬具	31,299	34,979
減価償却累計額	△16,066	△17,590
機械装置及び運搬具（純額）	15,232	17,388
工具、器具及び備品	119,552	139,534
減価償却累計額	△78,442	△91,372
工具、器具及び備品（純額）	41,109	48,162
土地	33,516	37,319
リース資産	102,024	130,302
減価償却累計額	△43,692	△52,710
リース資産（純額）	58,332	77,591
建設仮勘定	1,437	8,379
有形固定資産合計	274,360	342,134
無形固定資産		
商標権	198,423	212,331
のれん	11,234	10,096
その他	6,083	6,845
無形固定資産合計	215,741	229,274
投資その他の資産		
投資有価証券	1,528	1,198
差入保証金	39,618	41,158
長期前払家賃	11,646	10,121
繰延税金資産	10,311	9,215
その他	7,378	7,196
貸倒引当金	△62	△61
投資その他の資産合計	70,420	68,828
固定資産合計	560,522	640,237
繰延資産		
株式交付費	481	314
社債発行費	98	203
繰延資産合計	580	518
資産合計	813,109	960,362

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	56,386	58,790
短期借入金	6,857	3,942
1年内償還予定の社債	—	5,000
1年内返済予定の長期借入金	29,925	22,582
リース債務	17,160	22,494
未払法人税等	15,447	9,815
契約負債	883	860
賞与引当金	5,006	5,147
その他	59,446	72,477
流動負債合計	191,114	201,111
固定負債		
社債	35,000	50,000
長期借入金	227,923	228,518
リース債務	48,836	63,245
株式給付引当金	525	216
退職給付に係る負債	284	383
資産除去債務	6,874	8,300
繰延税金負債	56,533	60,560
その他	5,645	6,575
固定負債合計	381,623	417,801
負債合計	572,737	618,912
純資産の部		
株主資本		
資本金	47,497	47,497
資本剰余金	74,112	122,613
利益剰余金	113,097	147,070
自己株式	△13,723	△15,632
株主資本合計	220,983	301,548
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46	—
繰延ヘッジ損益	△723	341
為替換算調整勘定	19,755	39,073
その他の包括利益累計額合計	19,078	39,414
非支配株主持分	309	486
純資産合計	240,371	341,449
負債純資産合計	813,109	960,362

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	1,136,684	1,264,053
売上原価	514,475	577,617
売上総利益	622,208	686,436
販売費及び一般管理費	547,080	604,996
営業利益	75,128	81,440
営業外収益		
受取利息	2,096	3,008
受取配当金	6	12
為替差益	548	894
持分法による投資利益	21	16
補助金収入	504	867
その他	1,686	1,817
営業外収益合計	4,864	6,616
営業外費用		
支払利息	5,736	7,027
その他	2,365	2,771
営業外費用合計	8,102	9,798
経常利益	71,890	78,257
特別利益		
投資有価証券売却益	—	144
固定資産売却益	146	86
受取保険金	85	—
受取補償金	608	236
補助金収入	70	201
リース解約益	832	—
その他	313	140
特別利益合計	2,057	810
特別損失		
固定資産売却損	237	255
固定資産除却損	2,876	2,867
事業撤退損	—	※1 1,378
減損損失	4,494	3,983
その他	2,836	2,603
特別損失合計	10,445	11,088
税金等調整前当期純利益	63,502	67,979
法人税、住民税及び事業税	24,090	21,084
法人税等調整額	108	1,112
法人税等合計	24,198	22,197
当期純利益	39,304	45,782
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	13	△30
親会社株主に帰属する当期純利益	39,290	45,812

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	39,304	45,782
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	△46
繰延ヘッジ損益	△882	1,066
為替換算調整勘定	△1,156	19,584
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	28
その他の包括利益合計	△2,022	20,633
包括利益	37,281	66,416
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	37,285	66,430
非支配株主に係る包括利益	△4	△13

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	47,497	74,112	85,461	△13,715	193,355
当期変動額					
新株の発行					—
剰余金の配当			△11,024		△11,024
親会社株主に帰属する 当期純利益			39,290		39,290
自己株式の取得				△10	△10
自己株式の処分		0		1	2
資本金から剰余金への 振替					—
連結範囲の変動			△630		△630
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	0	27,636	△8	27,627
当期末残高	47,497	74,112	113,097	△13,723	220,983

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	退職給付 に係る 調整累計額	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	24	158	—	20,845	21,029	267	214,652
当期変動額							
新株の発行							—
剰余金の配当							△11,024
親会社株主に帰属する 当期純利益							39,290
自己株式の取得							△10
自己株式の処分							2
資本金から剰余金への 振替							—
連結範囲の変動							△630
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	21	△882	—	△1,089	△1,950	42	△1,908
当期変動額合計	21	△882	—	△1,089	△1,950	42	25,719
当期末残高	46	△723	—	19,755	19,078	309	240,371

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	47,497	74,112	113,097	△13,723	220,983
当期変動額					
新株の発行	24,250	24,250			48,500
剰余金の配当			△12,586		△12,586
親会社株主に帰属する 当期純利益			45,812		45,812
自己株式の取得				△1,908	△1,908
自己株式の処分		0		0	0
資本金から剰余金への 振替	△24,250	24,250			—
連結範囲の変動			746		746
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	48,500	33,972	△1,908	80,564
当期末残高	47,497	122,613	147,070	△15,632	301,548

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	退職給付 に係る 調整累計額	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	46	△723	—	19,755	19,078	309	240,371
当期変動額							
新株の発行							48,500
剰余金の配当							△12,586
親会社株主に帰属する 当期純利益							45,812
自己株式の取得							△1,908
自己株式の処分							0
資本金から剰余金への 振替							—
連結範囲の変動							746
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△46	1,065	—	19,317	20,336	176	20,513
当期変動額合計	△46	1,065	—	19,317	20,336	176	101,078
当期末残高	—	341	—	39,073	39,414	486	341,449

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	63,502	67,979
減価償却費	46,509	53,314
減損損失	4,494	4,019
のれん償却額	1,451	1,183
賞与引当金の増減額(△は減少)	929	91
株式給付引当金の増減額(△は減少)	147	△309
受取利息及び受取配当金	△2,103	△3,020
支払利息	5,736	7,027
売上債権の増減額(△は増加)	△6,883	△2,340
棚卸資産の増減額(△は増加)	△22,468	△13,276
仕入債務の増減額(△は減少)	13,276	1,227
未払消費税等の増減額(△は減少)	△4,057	2,650
その他の流動資産の増減額(△は増加)	1,161	2,339
その他の固定資産の増減額(△は増加)	2,329	2,280
その他の流動負債の増減額(△は減少)	777	5,795
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△545	528
その他	1,412	4,687
小計	105,670	134,179
利息及び配当金の受取額	1,321	3,058
利息の支払額	△5,218	△7,566
法人税等の支払額	△22,821	△28,494
営業活動によるキャッシュ・フロー	78,953	101,177
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△36,000	△55,000
有価証券の償還による収入	36,000	60,000
有形固定資産の取得による支出	△61,520	△78,007
有形固定資産の売却による収入	233	288
無形固定資産の取得による支出	△2,275	△2,416
長期前払費用の取得による支出	△367	△555
投資有価証券の取得による支出	△343	△96
差入保証金の差入による支出	△2,503	△2,831
差入保証金の回収による収入	949	740
長期前払家賃の支出	△679	△379
その他	8	167
投資活動によるキャッシュ・フロー	△66,497	△78,089

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△1,494	△3,298
長期借入れによる収入	53,641	33,579
長期借入金の返済による支出	△47,924	△40,688
リース債務の返済による支出	△19,587	△23,575
自己株式の取得による支出	△10	△1,908
社債の発行による収入	19,920	19,835
社債の償還による支出	△10,000	—
非支配株主からの払込みによる収入	47	—
株式の発行による収入	—	48,301
配当金の支払額	△11,006	△12,566
その他	189	141
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,225	19,819
現金及び現金同等物に係る換算差額	703	5,352
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△3,066	48,259
現金及び現金同等物の期首残高	82,171	79,695
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	589	99
現金及び現金同等物の期末残高	79,695	128,054

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結損益計算書関係)

※1 事業撤退損

当連結会計年度において、連結子会社Pocino Foods Company（外販製造卸売事業）について、市場環境の変化及び、ゼンショーグループの経営資源の集中と選択により同社の解散・清算を意思決定いたしました。それにより発生する損失見込額及び発生した損失額を、事業撤退損として特別損失に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が経営資源配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、フード業の経営を幅広く行っており、以下を主な報告セグメントとして区分し、グループ戦略を立案・決定しております。各報告セグメントに含まれる事業は以下の通りであります。

報告セグメント	事業内容
グローバルすき家	牛丼チェーン「すき家」の国内・海外での展開
グローバルはま寿司	寿司チェーン「はま寿司」の国内・海外での展開
グローバル中食	寿司テイクアウト事業の海外での展開
グローバルファストフード	各種ファストフード事業の国内・海外での展開
レストラン	レストラン事業の国内・海外での展開
小売	スーパーマーケット等の経営
本社・サポート	各業態のサポート業務

事業における重要性を踏まえ、業績管理区分をより経営実態に適した形に見直したことに伴い、当連結会計年度より、従来の「グローバルファストフード」セグメントに含まれていた海外テイクアウト寿司事業を「グローバル中食」セグメントとして分離して開示することにしました。それにより報告セグメントは「グローバルすき家」「グローバルはま寿司」「グローバル中食」「グローバルファストフード」「レストラン」「小売」「本社・サポート」の7区分に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表作成のための会計処理方法と概ね同一であります。なお、報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であり、報告セグメントに資産及び負債を配分していません。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント							
	グローバル すき家	グローバル はま寿司	グローバル 中食	グローバル ファスト フード	レストラン	小売	本社・ サポート	計
売上高								
外部顧客への 売上高	295,757	248,495	209,944	104,181	156,085	76,032	4,887	1,095,384
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	304	91	—	13	254	773	408,001	409,440
計	296,062	248,586	209,944	104,194	156,339	76,806	412,889	1,504,824
セグメント利益 又は損失(△)	24,508	21,352	25,578	3,571	11,393	△1,794	△7,418	77,192
その他の項目								
減価償却費	12,518	8,375	5,657	5,229	5,730	1,237	6,915	45,666
のれん償却額	—	1	—	416	385	445	18	1,267

(単位：百万円)

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への 売上高	41,300	1,136,684	—	1,136,684
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	15,223	424,663	△424,663	—
計	56,523	1,561,348	△424,663	1,136,684
セグメント利益 又は損失(△)	△2,002	75,189	△60	75,128
その他の項目				
減価償却費	842	46,509	—	46,509
のれん償却額	183	1,451	—	1,451

(注) 1. その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外販製造卸売事業、介護事業及び畜産水産事業等を含んでおります。

2. 調整額は、主にセグメント間取引消去及び棚卸資産の調整額であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							
	グローバル すき家	グローバル はま寿司	グローバル 中食	グローバル ファスト フード	レストラン	小売	本社・ サポート	計
売上高								
外部顧客への 売上高	314,454	320,277	221,895	112,818	171,281	76,977	10,709	1,228,414
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	372	102	0	9	190	1,050	481,411	483,136
計	314,826	320,379	221,896	112,828	171,471	78,027	492,120	1,711,551
セグメント利益 又は損失(△)	9,317	26,771	27,376	3,310	12,998	△1,025	2,780	81,529
その他の項目								
減価償却費	14,354	12,028	5,533	4,480	6,489	1,170	8,265	52,321
のれん償却額	—	1	31	230	385	445	12	1,106

(単位:百万円)

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への 売上高	35,638	1,264,053	—	1,264,053
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	17,803	500,940	△500,940	—
計	53,442	1,764,994	△500,940	1,264,053
セグメント利益 又は損失(△)	△371	81,158	282	81,440
その他の項目				
減価償却費	992	53,314	—	53,314
のれん償却額	77	1,183	—	1,183

(注) 1. その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外販製造卸売事業、介護事業及び畜産水産事業等を含んでおります。

2. 調整額は、主にセグメント間取引消去及び棚卸資産の調整額であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	1,335.69円	1,665.94円
1株当たり当期純利益	240.45円	275.85円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 「株式給付信託(BBT)」の信託財産として(株)日本カストディ銀行(信託Eロ)が所有する当社普通株式を、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式数に含めており、また、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は、前連結会計年度291,400株、当連結会計年度291,400株であり、1株当たり当期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前連結会計年度291,560株、当連結会計年度291,400株であります。

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	39,290	45,812
普通株主に帰属しない金額(百万円)	1,620	2,617
(うち優先配当額(百万円))	1,620	2,617
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	37,670	43,195
期中平均株式数(株)	156,664,387	156,586,446

(重要な後発事象)

該当事項はありません。